

街灯のある街角「倉敷中央通り街灯」

倉敷中央通りは、倉敷市のシンボリック存在である“歴史的建造物群保存地区”とJR倉敷駅を結ぶメインロードとなっている。

倉敷市では、この歴史的建造物群保存地区へのアプローチを、快適で個性のあるものとするため、倉敷市都市空間サイン計画を立案し、統一的な町並みの形成を図っており、街灯はその一環として設置されたものである。

こうして整備された街灯は、周辺住民はもとより観光客にも好評で、快適で温かみのある雰囲気醸成を醸成しており、個性的な魅力ある地域のシンボルとして、市民に愛されている。



所在地	岡山県倉敷市阿知2丁目～中央3丁目
諸元	延長：780m、幅員：22m
関係する施設など	街路灯高さ約5m、43基
材料	街灯： スチール、ジュラクロン塗装仕上げ ランプ： 水銀灯400W×2、250W×1
イベント	フラワーロードの花いっぱい運動